

シャープ社友会 栃木支部会報

第51号

nikko

2023. 1. 1 発行
発行責任者 荒田英治

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



木幡神社のどんど焼き・太々神楽の奉納
撮影：大屋信幸（会員番号5522）

令和五年の新年を迎えて

シャープ社友会 栃木支部

支部長 荒田 英治

あけまして

おめでどうございませす



社友会会員の皆様には穏やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日頃は社友会活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

新年を迎え、シャープ社友会栃木支部として過去一年の状況を振り返りますと、繰り返されるコロナの問題は依然として解消されないものの、支部役員・地域幹事・クラブ同好会幹事皆様のご協力により役員会や幹事会は基本的に欠かさず実施し支部活動の方向付けを行いました。関係各位には改めて感謝申し上げます。年初にお伝える事でもないかと思いますが、この一年間は栃木支部会員の計報もなく、ご親族で不幸があつたかも知れませんが、弔問に出掛けることもなく過ごせたのは有り難いことでした。

然しながら体調を崩されたりして施設に入所されている方がいる等の情報もあり、昨年度は地域幹事さんのご協力を得て各会員宅への訪問や電話・メールによる現況確認を行って頂きました結果、スマホの普及により固定電話を解約されているなど、支部で把握していた会員原簿を見直す良い機会となりました。

現在、社友会は栃木支部だけではなく本部はもとより各支部何れもが高齢化による退会者、新会員の入会が殆どないなどの要因で会員数の減少が進んでおり、会存続への危機感を抱いている状況にあり、これが対応につき本部・支部間をテレビ会議で繋ぎ昨年十一月に本部役員・各支部長・事務局長参加のもと意見交換会を開催しました。

本部からは退職者が社友会に入会する場合、一年間の年会費を免除するなどとした「準会員制度」の提案もありましたが決定打とはならず、個人情報保護を理由に会社側から退職予定者情報が社友会に入っていないのも問題で、その該当者に退職前に社友会から会報誌や行事案内を送付するなど入会を働きかける事が出来れば…などの意見が出る程度の現状確認に留まっています、本件に関しては今後本部を通じて社友会に理解のある会社幹部に協力要請する等の対策案を協議していくことになりそうです。

特に栃木支部は事業母体が無くなり、当時、堺や亀山など各地に転出した従業員も退職後は住み慣れた栃木に帰る人もいますので、何とか退職予定者リストを会社より入手したいものと考えています。

又、昨年十一月末に『シャープ工場解体困難』矢板市跡地利用リノベも視野・・・の見出しの記事が読売新聞の地域版に掲載されました。内容は市議会で斎藤淳一郎市長から「シャープ栃木工場の跡地利用(敷地全体の約68%・22畝)について建物の解体撤去に少なくとも五十億円が見込まれるが土地売却代金は約十六億円で更地にしたうえで再活用は困難との見方で、今ある建屋のリノベーションなども会社と協議していく」との見解を示された報道でした。

二〇一八年十二月に栃木工場での半世紀にわたるテレビやビデオの生産活動を停止して以降、既に四年を経過した社友会栃木支部の活動拠点として使わせて貰っていた社友会室・コミュニティホールは雨漏りによる漏電等の危険がある事から移転、現在旧技術センター一階で役員会や幹事会を開催する状況に替わっておりませんが、今回の報道を見る限り会社敷地・施設の売却などは進まず、栃木支部の活動拠点は当面現在の場所から変動はなさそうに感じております。

今年迎える四月は役員・幹事の改選時期になっており新体制で臨むこととなります。これまで二年弱、支部活動を支えて頂いた地域幹事の皆様には大変ご尽力を頂きました。新しく地域幹事として担当いただく事になる各班の方々にはご足労をお掛けしますが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、毎年、当会報で年初のご挨拶文にて「案内させて頂いている「こくみん共済(旧名:全労災)」が扱っております「マイカー共済」等の保険加入勧誘に關し、栃木支部会員の皆様が昨年度も継続や新規に加入いただけただけことから、年一回「こくみん共済」より栃木支部へ支払われる事務取扱手数料は前年度比で増加しており、支部活動の貴重な財源として活用させて頂いております。

既にご加入の会員の皆様は継続加入して頂くとともに未加入会員諸氏へ保険料見直し等、機会があれば是非お薦め頂けますようお願い申し上げます。

本年も会員皆さまのご協力を得て社友会活動がより一層意義のあるものとなりますよう新年度以降も努めて参る所存ですので引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



米寿を迎えて

会員番号 六五二 小松 博



早、退職して二十八年となりました。先日、社友会より御祝金を頂きまして誠に有難う御座います。

数年前に運転免許証を返納いたしました。現在は自転車利用となっております。

健康状態は良好であります。

毎日の洗濯を引受けております。一回、又は二回行い、干し場が二階にある為、階段の昇り降りが足腰の強化になっているものと思っております。

日中は小さな畑を少し作っていますが、周りが農家なので雑草の種が風に乗って飛んで来る為、雑草取りの日々となっております。

子供には出来る限り

世話にならない様、日々の生活に注意し、身体を動かして体調を維持して残りの人生を頑張りたいと思います。

ボケ防止の為、漢字パズルを相手にボケない様にしております。

喜寿を迎えて

会員番号 三三四 渡部 正幸



シャープ退職後六年間は山形で家内と二人だけの生活を、その後四年間は週二日福島で中小企業の顧問業を経験し七十歳で毎日が休日の隠居生活が始まりました。

た。住まいは長男夫婦と愛犬との二世帯住宅ですが、基本的にはお互いあまり干渉しないよう、心がけています。私は、お陰様で現時点まで特に大きな病気もせず、自分では健康だと自負していますが、家内ともども近年物忘れが多く、一日の生活時間の何割かをもの探しに費やしているのも現実です。

生活習慣病と揶揄されていますが、健康な体力気力を維持するためにも『百薬の長』を信じ晩酌は欠かしたことはありません。

生活の考え方のポイントは適度な緊張と緩和を生活の中に取り入れるよう心がけています。加えて現状維持ではなく常に新しい物に挑戦する気持ちを持ち続けることが大事だと信じています。勿論、衰えていくことで捨てていくことも枚挙にいとまはないのですが、これは私流の「老後の新陳代謝」と考え、積極的に体力に合わせた生活基準を求めています。

また、健康年齢を長く続ける策として

◆一つ目は、体力維持のためにも持続できるスポーツとしてテニス(四日/週) ゴルフ(二日/週)を二十

数年間続けていますがこれからも持続できるように頑張っていきます。

◆二つ目は、生活に潤いを持たせるよう趣味に没頭しています。園芸(バラ栽培、果樹栽培) 野菜作り(庭の片隅の小さな畑で) ※実はバラづくりは大変体力が必要としますので、今後果樹栽培にシフトしようと考えています。(老後の新陳代謝)

◆三つ目は、ボケ防止にパズルやゲームに加え日誌(毎日の出来事を記述する)をつけることで脳の活動を停滞させないよう心がけています。

最後に二世帯とは言え自分のことは自分で何でもできるような家事全般に挑戦中です。特に料理はここ数年家内の指導も受けながら肉料理を中心にレパートリーを広げています。孫達からの「美味しかった」の一言が意欲を掻き立てます。

しかしながら奮る年波には勝てず、諸先輩方のご指導を仰ぎながら周りに迷惑をかけないよう、それなりに頑張っていると思っております。

会員番号 三三七八 中倉 勝利



この度は、喜寿を迎えて社友会より、お祝いを頂き誠に有難うございました。ついこの間、古希の祝いを頂いたばかりで、もう喜寿!、古希の投稿でも触れましたが母親の遠距離介護で一年の半分に入所して貰って一段落したところです。

自分の体調の方は血圧と尿酸値が高目で投薬治療中の他は大病も無く元気です。

(次頁へ続く)

三年間のコロナ禍で日常生活が一変、この夏休みに
は子供達と喜寿祝を兼ねて全員集合旅行を計画してお
りましたが第七波襲来で延期になりました。退職後に
始めた趣味のそば打ちの同好会行事も止む無く中止中
です。

しかし乍ら、やっと時間が出来たので、伸び放題の庭
木の剪定、妻の花壇手入れ応援やミニ菜園で野菜作り
等、充実した毎日です。又、四月から市の健康ポイント
事業に参加して毎日五千歩以上を目指して歩く事と自
治会の行事にも参加して体力維持と認知症予防に努め
ております。

暫く中断していた社友会の行事にも顔を出したいと
思いますので、今後とも宜しくお願い致します。

会員番号 三三三三三 松田 輝臣



この度、喜寿のお祝いを
頂きまして有難うございま
した。時が経つのは早いも
のですね。自分の中ではつ
いこの前、古希のお祝いを
頂いたばかりの様気がし
ています。七十歳を超えら
と早いと聞いていますが、

実感しました。

現在も自家の農業を現役で忙しく行っています。実
はそろそろ息子にバトンタッチしたいと考えています
が、サラリーマンの息子に会社と農業を兼業させるの
は昔の自分の体験から少し酷な気がして、身体の動く
限り続けていこうと思えます。

米の他、野菜と植木を育て、出荷しています。ここ
数年前から始めた自然薯の栽培には昔の会社の仲間か
らご指導頂き、すっかりはまってしまい、今やご近所
とのお付き合いに、この自然薯が大いに役立つしてい

す。パンダ外交な
らぬ自然薯外交を
行っています。収
穫時期が十一月末
頃なのでお見せ出
来ないのが残念で
すが、写真のバッ
クが栽培の様子で
す。健康面では特
に大病もなく何と
か毎日の農作業で
体力維持していま
す。唯一残った趣
味の鮎釣りでした
が、ここ一二年は『つの釣り』（十匹以下の俗称）で
現場では仕掛けのトラブルも多く体力の衰えを感じて
います。これからは、男四人の内外の孫の成長を見守り
ながら穏やかに過ごしていきたいと思っております。



古希を迎えて

会員番号 五八〇七 黒川 健一



役員のお誘いを受け、まあ一度はお役に立たねばと事

早いもので入会しても
う十年、社友会より古希
の祝いをいただき有り難
うございました。現役時
は英国、マレーシアと海
外が長かったため、とに
かく「日本」での生活を
考えている内、社友会の

務局、副支部長と六年間勤めさせていただきました。
退職直後には記念にと今でも繋がっている
Wrexham(イギリス)で住んでいた村の隣人を再訪した
り、思い出の地を巡ったりもしました。

プライベートで
は海外で始めた、
ちつとも上達しな
いゴルフを続ける
傍ら学生時代にや
ったサイクリング
を再開、軽く走れ
るロードバイクに
て普段は近辺25 km
程を一時間強走つ
たり、50〜100 km
程のコース設定で、
要所に補給所が設
けられマイペース
で走れるロングラ
イドのイベントに参加しております。



那須の登りで、もがく筆者

最近隣接地で無農薬の家庭菜園も始めました。
現役時の不摂生がたたり腰痛を抱える状況下「これ以
上悪化させない」と、これらの機会をとらえ出来るだけ
体を動かす、ひいては健康寿命維持につながるだろう
と考え日々を送っております。



会員番号 五八二五 細田 清



古希を迎え、社友会よりお祝いとメッセージを戴き、退職後十年を簡単に振り返ってみました。小生の退職は二〇一二年五月で、四ヶ月程して知人の紹介で都内にあるベンチャー企業にご厄介になり、そこで六年半

ほど在籍しました。

そこでの業務は、電子機器の設計受託業務と特許管理業務全般で、設計受託業務は二年程担当しましたが、シャープのような大企業と異なり、営業から原価管理設計業務まですべてこなさなければならぬ業務形態の仕方を経験しました。

特許管理業務では、その会社の特許ポートフォリオ強化に取り組み、その中でも係争関連において、国内法人、及び、韓国最大手S社への特許侵害訴訟を主管で取り組み、思考原点に繋がる業務に携わり、非常に貴重な経験をすることが出来ました。

退職後は山梨に拠点を移し、小規模の菜園を基盤とするスローな田舎生活を始めましたが、二〇一九年のパンデミック拡大により、行動範囲が限定されたのに相応して体調を崩し、二回の入院手術を経験しました。

最近では、体調に留意しながら、天気の良い日は、菜園で汗を流し、週一の孫娘とのビデオ通話等を楽しみにストレスの平凡な日々を送っています。



「第二の人生に向け出発だあ！」

会員番号 五八七〇 石川 恵一



我が生き様は長期を見据え節目決戦の積み重ねだった。古希を迎えその先の喜寿を目標に我人生はここ瀬戸内の蒲刈島(広島県)で愛犬チワワとの二頭三脚で悔い無しの生き様かな!!

と。

「若葉マークに保険料二割負担やシルバー料金などなど七十歳だよ！貴方は・・・」と嫌と言う程、周りがザワツクのには閉口したが、素直に受け入れる事で快適にもなる事が多い様です。

六十歳の定年をシャープで迎える節目を第一期として国内拠点を始め海外事業に従事し幾多の波乱万丈の業を熟したが、多くの先輩や友人に支えられ無事旅立つ事が出来、真に涙しました。

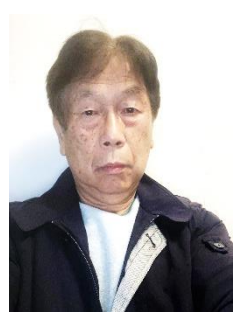
更に、還暦後の第一期には海外展開の他社で、我が集大成と言える自社生産設備の自主開発と導入の機会を得て、自身が積み重ねて来た技術の可能性を遺憾なく注ぎ込めた事に人生七十年の歳月を迎えられた事は感無量の境地です。

今は第二期の歩みである海の見える蒲刈島でミカン畑などの果物や野菜を自家栽培しながら実家の新潟との行き来や、時として請われるまま電気/機械修理や農作業応援等をしながら、喜寿を目標にして健康に留意し皆様と共に活きたいと思っております。



広島県蒲刈島の風景

会員番号 六〇〇五 立真 宏茂



この度は古希のお祝い戴きまして有難うございました。ついこの間還暦を迎えたかなと思つたら、アツという間に古希を迎えることになりました。中国の唐時代の詩人、杜甫の詩の一節である「人生七十古来稀なり」に由来して、現在では還暦より本格的な長寿の祝いと考えられているようです。紫が長寿の祝いとされています。アジサイやゆりの花が大好きです。

今までは他人事のように思っていました、心も身体も健康で、まだまだ二十歳代の気持ちで頑張っているつもりです。(チョット言い過ぎかなあ)

私達の時代と変わりアナログからデジタルに変化している今日、足でまといにならない様 創意工夫し、働く事の喜びに感謝し毎日を過こしています。

コロナ禍の中、なかなか収束しない今、それぞれの人々の生き方が変化しています。これからどのような時代なるのか不安になります。しかし前向きに物事を考え前進するのみです。

さて私は定年退職後、OBの人から会社を設立したので手伝ってほしいという依頼があり、週三日ほどのお手伝いが早十年経過し現在に至っています。



幹事コーナー

「第一班幹事を担当して」

第一班 並木利男



昨年四月来より一班(宇都呂東部)の幹事担当と成り初月例会幹事会出席の為、十一年ぶりに矢板へ赴いた際、移動にこんなに時間が掛かったのかと通勤時には考えたことがなかったのに一寸驚き、更に事業所内が寂しい状態に成っていることに二度の驚き液晶テレビ生産時の活気は何処へ。しかし乍ら在籍中に色々とお世話に成った方と逢えたことで懐かしさと齢をも感じました。

退職後に一時期御朱印集めを行って居りましたが、市の健康診断にて再検査要の通知を受け二度の精密検査後、腫瘍が発見され転移もあり十年間で五回の入院を繰り返して、現在は残り一か所の経過観察の為に定期通院をしております。医者からは食事や生活習慣・環境についての指導を受けている為、生活範囲が狭い上コロナ禍で更に行動範囲が狭くなりましたが、時々日曜大工の真似事や庭木手入れ等々で日々の時間がゆっくり流れているのを楽しんでおります。

ここで一つ学んだことはサプリメントに依っては手術・治療に支障を来さず事がわかり、現在ではサプリメントから出来る限り食事で補うようにしています。

話は変わりますが昨年盆はコロナワクチン四回目を受けた事もあり三年ぶりに実家へ里帰りして外食をとも思い駅前繁華街の店舗を探すもコロナの影響で閉

店や休業が点在しており、報道された内容が現実を目の前にして痛感すると共に居住地に於ける環境・経済の変化する時間軸が違うと思えました。

住めば都と言われますが現在の居住地と家が落ち着きます。

これからも社友会の皆様方と共に健康で社友会を盛り上げて行きたいと思えます。

「第九班幹事を担当して」

第九班 長谷川 忠夫



地域幹事二年目になりました。エリアは中・末広町で会員は現在十四名です。先日、会員の連絡先確認のため、固定電話に掛けさせて頂きましたが一度で通話ができた方が少なく時代の流れを感じました。

(固定電話は勧誘が多く出ない方が・・・) 今後は可能な限り携帯電話、またはライン登録に徐々に切替えて行く必要があるのではないかと思います。

私事ですが昨年から趣味の一環として「複音ハーモニカ」を習い始めました。十六名でスタートしましたが現在は四名脱落、十二名で二回/月、切磋琢磨

先日初めての演奏会をやりました。今後は童謡唱歌や演歌等レパートリーを増やして介護施設や歌声サロンに慰問しようと仲間たちと頑張っています。



「第十三班幹事を担当して」

第十三班 浜田 守



十三班は矢板市の東に位置するハッピーハイランド矢板行政区で二十四名の会員で構成しています。栃木事業所前の国道四号線を宇都宮とは反対方向の福島方面に約3キロ団地です。昭和四十年頃、小

高い森を整地して約三百五十区画の居住区が出来たと聞いています。

十一年前の東日本大震災では激震地区に指定されるなど大災害に遭遇、多くの家屋が全壊・大規模半壊し生活インフラも破壊されました。電気ガスは数日で仮復旧するも、生活用水は水道中継タンクの破壊により二ヶ月以上断水が続くなど悲惨な状況でした。この震災の影響を含め社会情勢の変化で団地では少子化が進み昭和五十年代は多くの子供達が通っていた近くの小学校が廃校になるなど、当団地は矢板市の中でも高齢化が深刻な地区になっています。



現在の団地風景



1978年頃の団地風景

幹事役の遂行は十三班が団地内の徒歩圏であり資料配布や会員状況の確認は散歩を兼ねた活動です。

また、団地には社友会非会員ですが多くのシャープ関係者が居住しており自治会活動で交流しています。

二年間の幹事活動は残すところ数ヶ月ですが引き続き頑張つて遂行致します。

「第十七班幹事を担当して」

第十七班 原 政春



十七班は大田原市東側で二十三名在籍です。第一回幹事会で某会員の安否確認を指示され自宅および自宅周辺を五、六回訪問して大変な思いをしました。担当エリア面積が広く、散歩がてら会員とコンタクトするなど出来ず、その後の活動を心配しました。以降それほどの苦労は有りませんでした。

紙面が余ったので定年後十六年を経過した間の活動を記載します。定年後五年間中国で仕事に従事。中国を本音で知りたかったので中国会社を経験しました。途中から通訳無しで仕事はできる様になり、それなりに面白くいろいろ知識を得ました。

帰国後スポーツジムに入会。数年で10kgのダイエット達成。又ジムの知り合いに誘われダイビングを開始（百プラスα）回潜り、世間ではベテランと言われる本数となりました。実際はシニアにはなかなか難しいが中性浮力での海中遊泳は爽快で、来夏、孫娘とダイビングをする事を楽しみにしています。

家庭菜園を始めました。拓陽高校で座学、実学を2シーズン受講。知識、人柄、情熱が素晴らしい郷間先生に教えを受けた事はラッキーでした。木嶋利男博士の門

下生との事で私も影響を受けました。無農薬栽培を目標としています。方法はコンパニオンプランツを主として防虫ネット、捕殺等各種方法をミックスしています。今年はソラマメの無農薬化達成。残すはトウモロコシだけとなりました。

ソバ打ちを始め、段位も取得しましたが諸事情で二年間休んだらゼロとなりました。新たに別の道場入門。現在、美味しいソバ作り楽しく挑戦中です。

社友会「歩こう会」の例会で日本百名城攻略を勧められました。城郭、石垣も勿論興味は有りますが、小田原城で見つけた二宮尊徳の石碑「経済無き道徳は戯言であり、道徳無き経済は犯罪である」の様な事を見つけたのも楽しみです。現在八十名城前後で来春九州を攻略して百名城を達成させたいです。

今年の初めより眼が更に具合が悪くなりました。現在眼科技術では病名を断定できず、自称難病と思っています。眼を凝視する事を避けたら少しは増しなので、生活に多くの制限がありますが残った機能を良しとして生きていきたいです。

若い人達が希望を持ち、結婚して子供を授かる。そんな平凡で大切な事が継続してできる世の中になる様な考えを持ち生きていきたいと思っています。



新入会員紹介

（令和四年四月〜九月入会者）

会員番号 七二〇五 笹沼 芳男



昨年の九月にシャープ社友会に入会いたしました。私は二〇一五年にプロジェクト「事業が矢板から奈良大和郡山に移ったことから転動して二〇二〇年に定

年退職しました。その後、専門社員として、幕張のシャープマーケティングジャパンに二年間勤務しました。今まで忙しい日々ばかりでしたので、少しゆつくりしてから趣味に没頭したいと思えます。社友会の皆様には何卒宜しくお願い申し上げます。

会員番号 七二九四 国分 雄二郎

原稿、顔写真の提供がありませんでしたので、会員番号と氏名のみ紹介させて頂きました。



私の山登り

会員番号 三九一九 今泉 正男



私は伊豆の下田市の蓮台寺という海からは4 Km程山に入った盆地で生まれ育ちました。

父が日本鉱山という大きな鉱山会社で働いていた為、鉱山の社宅で育ち周りには同年代の子供が沢山いて上は中学生から下は小学生前の子供達がソフトボールやチャンバラごっこ等一団で遊んでいました。

その様な中で育っていましたが、家は決して豊かではなく、春は山菜、サクランボ、桑の実、やまもも採り、秋はあけび採りや山芋掘りと海拔300 m程の家から見える山は全て歩き尽くす程、山に入っていました。

子供の頃の山登りは食べる為に入っていました。それでも山の頂上まで登ると、そこから海やその先の伊豆七島が見えたり、隣の村の集落が見えたりという日常とは違う世界が広がり、それが未知の世界を見る様な楽しさがあったのを覚えています。

高校に入学した時、学校に山岳同好会が出来、それに入りたかったのですが病気で寝ていた兄の反対もあり山岳同好会への入部は断念して柔道部に入る事に。兄は五月の南アルプス、たぶん赤石岳等を登っていて雪山に惹かれたのも兄の写真を見ていたからだとも思っています。

結果的には高校の三年間は柔道部で徹底的に受け身の練習をした事が山登りを始めて冬の北穂沢で雪崩に巻き込まれ400 m以上も滑落したり、五月の南アルプ

スの最高峰北岳での滑落事故や小さな滑落事故等、何度も遭遇した危機を乗り越える無意識の防衛力が身に着いたのだと思っています。

もともと、やりたかった山登りも結婚や海外転勤で大きな空白が出来てしまいましたが、定年退職で日本に帰国した六十一歳から、またやり直す事にしました。

最初の山は妻を連れて古くからの山友達と鳥海山に登りましたが、この三十年以上の空白は思っていたよりも体力衰えが大きく、登りは全く息が上がって何度も休まなくては頂上にたどり着けない状態でした。

帰国して二年目に先輩の廣島さんからエスカルゴ山の会(山岳部のOB会)が活動している事を知り、再び、昔の山仲間と一緒に山に登る事になりました。上越や東北の山を沢山登らせて貰いました。私はやはり北アルプス、特に行を戴いた穂高連峰が好きで、穂高のバリエーションルートや北アルプスの縦走等を計画実行して来ましたが、年を重ねるに従って体力的な衰えを強く感じているこの頃です。

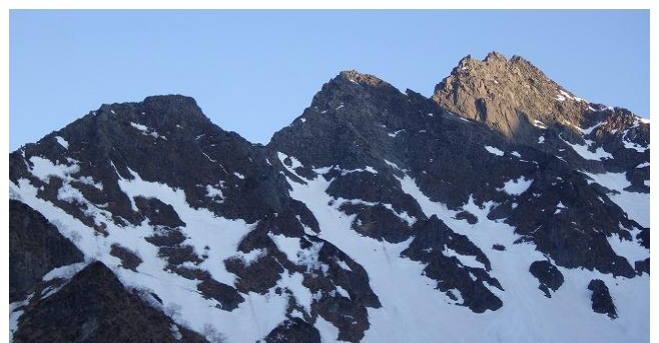
何とかこの体力の衰えを少しでも遅くする為、毎日約一万歩以上歩き、その中に走る事も加え日々努力しています。



R4/6/16 奥秩父の両神山山頂にて



R4/1/10 朝日岳から写した冬の茶臼岳



R4/5/18 夕陽に輝く前穂高岳と北屋根

< 2022年4月～9月 > 歩数 / 走った距離

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間歩数 合計 (歩)	307,360	317,450	301,269	331,407	315,150	330,658
走った距離 合計 (m)	43,800	14,400	15,400	13,600	13,600	0

NHK海外向け放送番組に社友会栃木支部

副支部長の齊藤順一さんがテレビ出演

海外向け放送「NHK WORLD - JAPAN」で、奥日光の観光と歴史を紹介する番組が放送されました。この中で、中禅寺湖で活動されている男体山ヨットクラブ副理事長・齊藤順一さん（現栃木支部副支部長）が、このクラブ（一九〇六年創設、一九三〇年中断、二〇一八年復活）の歴史を紹介する場面で出演されました。

放送は、国内ではNHK BS-1で十月二十六日に日本語版が放送され、NHK総合テレビでは十二月十六日の「とちすべ」で再放送されました。放送内容は二十八分番組で最初にヨットクラブの歴史が紹介され、放送開始から六分過ぎ頃に齊藤さんが出演しています。

尚、男体山ヨットクラブの活動に関しては、平成三十年五月と令和元年九月にシャープ社友会栃木支部ホームページ掲載で、下野新聞に取り上げられた記事を紹介していますのでご覧ください。



ヨットクラブの歴史と活動内容を説明する齊藤順一さん

詳細をご覧になりたい方は、社友会栃木支部ホームページの情報掲示板を開き、「NHK-WORLD放送（英語版）」をクリックすると、視聴することができます！！

『創年大学ぶらぶらクラブ』が内閣府

令和四年度社会参加活動事例で受賞！

内閣府は、令和四年度のエイジレス・ライフ実践事例五十五件（推薦八十二件）、社会参加活動事例四十件（推薦五十二件）を決定しました。栃木県からは、社会参加活動事例として、矢板市『創年大学ぶらぶらクラブ』と、大田原市『ジャガイモの仲間の会』が紹介されました。

『エイジレス・ライフ実践事例

および社会参加活動事例の紹介事業』とは

高齢社会における生き方の例として、高齢者が年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き活きた生活を送ることを実践している人や、グループ等で就業、地域社会活動、世代間交流などの社会参加活動を積極的に行っている事例を広く紹介し、既に高齢期を迎え、またはこれから迎えようとする国民の参考に供するものです。

令和四年十月二十八

日に表彰式があり、矢板市教育長から賞状と盾が授与されました。

受賞した『創年大学ぶらぶらクラブ』には社友会栃木支部のメンバー五名・海瀬元之さん、掛下法示さん、成瀬常明さん、松内幸男さん、矢板利一さんが参加されています。

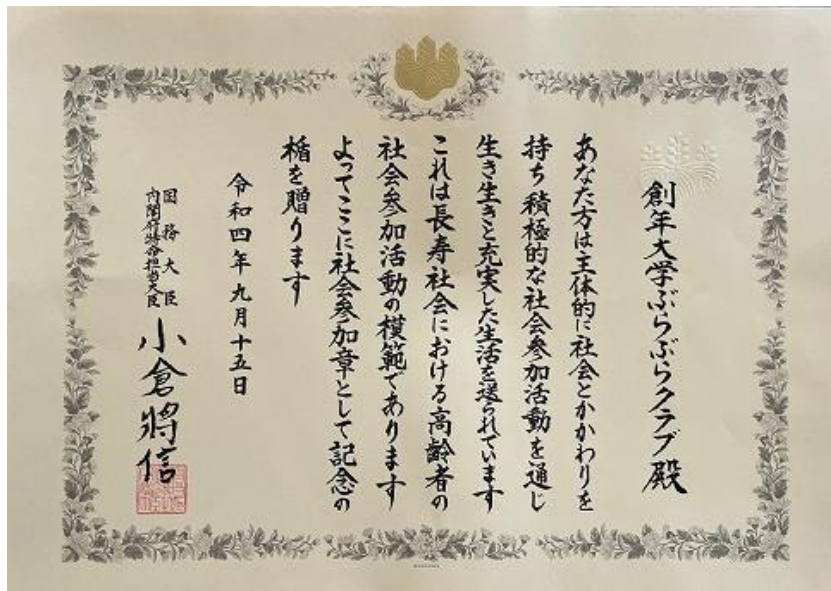


代表で賞状を受ける海瀬元之さん

（次頁へ続く）

☆☆ 矢板市『創年大学ぶらぶらクラブ』☆☆

平成二十一年度矢板市ふるさと創年大学の修了生により、行政との協働によるまちづくりを实践することを目的とし結成されたグループです。学校支援ボランティアや秋祭りなどの企画運営、地域子ども会等で昔遊びを通しての世代間交流イベントや、いちご一会栃木国体やマラソン大会等のスポーツボランティア、河川や生涯学習館周辺の草刈り作業など、十年以上の活動実績を重ねており、特に小・中学校の授業の運営においては必要不可欠な存在であり、まちづくりや地域おこしに大いに貢献しています。



掛下法示さん 矢板利一さん 松内幸男さん 成瀬常明さん 海瀬元之さん

『創年大学ぶらぶらクラブ』で活動する栃木支部会員の皆様



パソコンクラブ

Personal Computer Club

Established in 2001

パソコンの知識と技量を深める場として毎月定例会と勉強会を行っています。最近では、パソコンに加えてスマホなどデジタル機器の話題も扱っています。

定例会
毎月
第1水曜日
午前10時～12時

勉強会
毎月
第3水曜日
午前10時～12時

会員募集中

入会案内・問い合わせ先

会長：佐藤壽行 ☎ 0287-44-3377
事務局：永橋 肇 ☎ 0287-43-5199

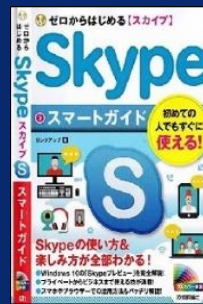
※入会費・年会費は無料です。

2022年7～12月の主な活動内容

- ・ホームページ内“会議室”を活用し、会員間の情報共有と意見交換を実施。
- ・定例会・勉強会をコロナの感染状況に配慮し、**オンライン会議(Skype)**中心で実施。
- ・**教科書**を使用し「**エクセル勉強**」を開始。
- ・ホームページの活動報告書及び会報のクラブ紹介ページの編集作業を実施。

《トピックス》

Skype を使用して、「**エクセル勉強**」をオンライン主体で会員間の相互学習を継続。



皆様方の参加をお待ちしております



大洗海岸



コロナ感染一段落、技術センター内の新たな会議室にて
(2022年7月リアル定例会参加者)

《会員紹介》

総会員数15名

浦川 正司	徳田 浩
安東 郁哉	福本 英之
飯野 一男	平山 勝
山本東洋治	郡司 忠一
佐藤 龍雄	永橋 肇
青木 正和	佐藤 壽行
津田 功	齊藤 順一
磯島 和美	

ゴルフ同好会



◇ 活動状況

活動に参加している会員中 75 歳を超える人が、約半数を占める状況下にありますが、コロナに負けず 18 ホールの HD 戦を、和気あいあいの中でも、熾烈な争いを繰り広げ健康年齢向上に活発に活動しています。
同好会では、新しい人からベテランまで会員相互の親睦と健康増進を目指し、楽しいゴルフの推進を図って参ります。退職後、ゴルフを始めた人、他メンバーとのプレーを楽しんでいる方の参加大歓迎です。

定例コンペ	第 133 回	第 134 回	第 135 回
開催日	7 月 22 日(金)	9 月 30 日(金)	11 月 25 日(金)
開催コース	大日向 CC	喜連川 CC	千成 GC
参加人数	15 名	34 名	31 名
優勝	成瀬 常明 (70)	原田 博美 (69)	内田 秀雄 (70)
準優勝	河越 泰博 (70)	合田 研 (69)	河越 泰博 (73)
3 位	辻 勉 (72)	河野 順一 (69)	松内 幸男 (75)
4 位	徳田 義文 (73)	丸山 昭治 (70)	丸山 昭治 (75)
5 位	前野 雄二 (73)	山下 栄三 (72)	山口 英吉 (76)
6 位	郡司 一巳 (75)	重面 治 (72)	郡司 一巳 (77)
7 位	山口 重一 (75)	青木 隆 (72)	福田 貞男 (79)
8 位	小川 廣志 (76)	山口 英吉 (73)	辻 勉 (80)
9 位	重面 治 (76)	前川 健治 (73)	今泉 正男 (80)
10 位	野中 春夫 (77)	内田 秀雄 (74)	野中 春夫 (80)
ベストグロス (コース毎)	徳田 義文 (78)	原田 博美 (79) 合田 研 (83)	河越 泰博 (82)

133 回入賞者



辻氏 成瀬氏 河越氏

134 回入賞者



河野氏 原田氏 合田氏

135 回入賞者



河越氏 松内氏



第 135 回 千成ゴルフクラブコンペ集合写真

◇ 今後のコンペ予定

コンペ	予定日	備考
第 136 回	3 月	矢板 CC
第 137 回	5 月	別途案内
第 138 回	7 月	別途案内

《新会員募集》

- * 入会金 : 無料 * 年会費 : 無料
- * 定例コンペ : 年間 5 回実施 5 月、7 月、9 月、11 月、3 月
- * 連絡先 : 幹事 山口重一 090-5303-2005
- : e メール s.yamaguchi@snow.plala.or.jp

歩こう会

◇ 歩こう会のご案内

- ☆県内、又は近県の山、溪谷、湿原などの景勝地へのトレッキングを行っています
- ☆定例会としては難易度が初心者向き、一般向きのコースで年6～7回実施、歩行時間は4時間程度
- ☆友志例会としては定例会で訪れるコース開拓と会員の登山レベル向上を目指し日本百名山等の本格的な高山や夏山での合宿登山を適時実施しています



6月10日

宝永山

◇ 令和4年度活動状況

・定例会：秋田県 八幡平 (7/11 9名参加)

・友志会：長野県 北横岳 (9/29 7名参加)



◇ 令和4年度 定例会活動と計画

定例会	実施月日	行先と山名	概要・ポイント
第133回	R4年 5月24日(火)	栃木県那須塩原 大入道	高原山・大入道のシロヤシオ
第134回	7月11日(月) ～13日(水)	秋田県・岩手県 八幡平 秋田駒ヶ岳	手軽な日本百名山の八幡平と高山植物溢れる秋田駒(2泊)
第135回	8月11日(木)	栃木県日光市 奥日光	山の日、湯の湖～龍頭の滝へ
第136回	10月4日(火)	栃木県日光市 鶏頂山	紅葉時期に藤原登山口より
第137回	11月8日(火)	栃木県日光市 龍王峡	川治湯元駅から龍王峡を縦走
第138回	R5年 1月10日(火)	栃木県宇都宮市 男抱山	山始めの軽登山と食事会
第139回	3月16日(木)	栃木県鹿沼市 岩山	低山ながら岩登り楽しめる山

◇ 令和4年度 友志会活動と計画

- ・4月に群馬県の「嵩山」、6月に富士山の「宝永山」、9月には「国師ヶ岳・北横岳」などを登山。友志会であっても難易度の比較的低い山歩きについては定例会メンバーにも積極的に行事内容を案内し、参加者を募って行う様な山行活動も計画していきます。

◇運営 組織：[顧問] 松本 隆 [会長] 荒田 英治 [副会長 兼 会計] 矢板 利一

◇会員の募集：歩こう会役員まで連絡ください。年会費2,000円(10月以降の入会は1,000円)

◇会 員 数：令和4年12月現在 登録会員数 22名(この他に家族会員4名)

●連絡先 荒田 英治 TEL 0287-37-3298 / 090-1121-1522
e-mail : earata@olive.ocn.ne.jp

カメラクラブ



◇ 活動状況

- ・ 8月10日 撮影会を計画： 天候不順。寒暖差が大きく、体調管理を考慮して中止としました。
- ・ 10月27日 撮影会を実施： 秋晴れの中、マイクロバスで南会津観音沼森林公園へ行きました。紅葉真っ盛りで、好天に恵まれ？ 人も多く道の駅では車の駐車スペースがなく休息ができない状況でした。紅葉に目を惑わされないように、日陰を探して撮影しました。

◎観音沼の写真：



・写真コンテスト入選・入賞作品紹介：

シャープ社友会栃木支部ホームページに掲載しています。

- ・カメラクラブ員の作品：あなたの自慢の一枚を掲載しませんか。カメラクラブへの入会をお待ちしています。

『 小人の行進 』 志賀 実

『 晩秋の風情 』 只友将弘

『 小さな秋 』 田代宏明



『 懐かしいヤマゴボウ 』 大屋信幸

『 朝光に輝く 』 貝増弘行

『 マイハウス 』 山口重一



◇2022年度 活動計画

- ・ 定例会は13時～15時、城の湯ふれあい館、又は片岡公民館で実施

・ 2023年

1月8日(日) 新年合同講評会
(矢板フォトクラブ、片岡写真教室)、
特別講師招待

2月8日(水) 撮影会：冬景色撮影、塩谷町、東古屋湖を予定

3月8日(水) 定例会：基礎研究、作品の講評

◀ 新会員募集 ▶ ◇年会費：3,000円(中途入会 無料) ◇体験参加可能 ◇現会員数：10名

◇連絡先 幹事：大屋信幸 TEL：0287-43-5806 ・e-mail：n0y8a@eagle.ocn.ne.jp

カラオケ同好会

< 入会申込・問合せ先 >

会長：福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局：青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 新規会員募集中 ♪♪

皆様もご承知の通り 2022 年は非常に変化の多い年でした。私事では、1 月 7 日に交通事故でドクターヘリで日赤へ運ばれ、3ヶ月の重傷を負いました。コロナウィルスは第7波迄拡大、後遺症も有る事から更に予防する事が肝要。最近では、アントニオ猪木、落語家の円楽が逝去、若大将の加山雄三も引退。地球温暖化による超大型台風の発生と被害。振り返ると79歳は本当に多難な1年でした。長生きの為に、想定外も乗り越える覚悟が必要です。同好会の活動は益々活発で加入者も増え体験入会、一時参加も大歓迎です。毎月第2火曜日を空けておいて下さい。昭和演歌は永遠です。 (記：福永)

♪♪ 定例会活動状況 ♪♪

実施日	実施場所	参加者	トップ賞	曲名
7 / 12 (火)	BanBan	4名	郡司	霧の川
8 / 9 (火)	休会(新型コロナ感染予防の為)			
9 / 13 (火)	BanBan	9名	郡司	奥飛驒慕情
10 / 11 (火)	"	8名	星野	捨てちまえ
11 / 8 (火)	"	6名	星野	雨音
12 / 13 (火)	休会(新型コロナ感染予防/その他の為)			



11月度カラオケ定例会参加者

定例会で熱唱中の会員



11月度「BanBan」西那須野店での定例会



9月度「BanBan」西那須野店での定例会



♪ カラケ好きの皆さん ♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点が出た事は、ありません。

<< 2022年の最高得点 >>



< 同好会会員 >

《計》24名

福永勝行	青木正和	郡司忠一	安藤八郎	島田次秀	星野幹夫
磯島和美	佐藤壽行	掛下法示	村上五十六	城本 昭	浦川正司
福本英之	津久井秀一	津田 功	岩谷秀勝	徳田 浩	細川美生
黒須美江子	大谷邦子	八性美代子	村上サダ子	笹原幸子	大島栄理子

グラウンド・ゴルフ同好会

◇ グラウンド・ゴルフ同好会の活動

➤ 会員の技能向上及び健康と親睦増進を目的に週3日、矢板市中心部に位置する『とちぎフットボールセンター』の人工芝グラウンドで活動を行っています。

2022年度もコロナの影響より1～3月は活動自粛を余儀なくされましたが、4月より活動を開始し、練習及び下記の競技大会を実施することができました。

皆様も1日2時間ほどの野外活動で寒いらず、医者いらずの生活を目指し、家族共々グラウンド・ゴルフを楽しみませんか。社友会会員を鋭意募集中です。



◇ 令和4年度4月～12月の活動状況

◇ 競技大会成績優秀者

No.	日付(年/月/日) 大会名	参加人数 名	優勝 スコア	準優勝 スコア	第3位 スコア
1	2022年4月12日 第45回定例会	男性: 32	須藤 利夫 65	高野 正守 74	大町 英雄 74
		女性: 23	関谷 スミ子 67	手塚 由美子 74	青木 禮子 76
2	5月24日 第46回定例会	男性: 23	室町 英喜 71	大町 英雄 72	岡本 和夫 76
		女性: 22	吉澤 満子 70	薄井 ケイ子 71	佐藤 美子 72
3	6月1日 第47回定例会	男性: 25	高野 正守 69	吉澤 実 70	藤原 勇 73
		女性: 24	和氣 トミ 74	佐藤 美子 75	佐野 昌代 77
4	7月6日 第48回定例会	男性: 29	岡本 和夫 69	高野 正守 72	須藤 利夫 73
		女性: 25	佐藤 美子 74	竹田 常子 75	江連 あけみ 78
5	9月7日 第49回定例会	男性: 24	大町 英雄 64	高野 正守 72	渡辺 勝治 73
		女性: 23	吉澤 満子 73	阿部 涼津子 77	手塚 由美子 78
6	10月11日 第50回定例会	男性: 21	後藤 謙輔 69	渡辺 勝治 75	藤原 勇 76
		女性: 23	青木 禮子 72	佐藤 美子 75	吉澤 満子 76
7	11月2日 感謝デー大会	男性: 25	福本 英之 67	近藤 靖浩 74	古河原 弘 76
		女性: 23	関谷 スミ子 75	飯田 トシ 75	竹田 常子 76
8	12月7日 第51回定例会	男性: 21	吉澤 実 73	福本 英之 76	原田 博美 76
		女性: 19	渡辺キヨ子 75	佐藤 美子 76	藤井 厚子 79

◇ 競技大会前の集合写真



2022年7月第48回定例会:とちぎフットボールセンター

➤ 新規会員募集中

入会金 : 0円

年会費 : 1200円

入会申込先 : 後藤 謙輔

社友会の皆様、綺麗な人工芝のグリーン上でグラウンド・ゴルフを楽しみませんか！
新規入会大歓迎です！！

TEL 0287-37-0368

e-mail xxpth079@ybb.ne.jp



健康麻雀同好会



健康的な麻雀を通じ、頭脳と指先の活性化による老化予防と会員相互の親睦を図る場として、ゲーム感覚で和やかな競技を楽しむことがモットーの同好会です。毎月第1金曜日にオープン戦(ねんりんピックルール)、第3金曜日に定例公式戦(シャープルール)を実施。17名の会員と、時には地域の皆さまを客員に迎え熱戦を楽しんでいます。この半年間の特徴は、高齢組の頑張りです。当会最年長の浦川さんが7月、2番目の安東さんは8月、4番目の岩村さんが9月に月間総合1位を獲得。3番目の藤井さんも10月2位に入賞。5番目の中山さんは7月に国土無双の役満を達成されています。なお、11月には第8波のコロナ禍が拡がりだし、引き続き、検温・消毒・マスク着用の徹底を図っています。

◇活動状況

2022年7月～12月の月度定例公式戦の成績(トップ3の会員名と得点)は以下の通りです。

定例公式戦	第75回	第76回	第77回	第78回	第79回	第80回
開催日	7月15日	8月19日	9月16日	10月21日	11月18日	12月16日
開催場所	ハッピーハイランド矢板自治公民館(通称;ハッピー会館)					
参加人数	12名	13名	12名	12名	8名	12名
<総合順位>						()内数字 ; 獲得点数
第1位	浦川 (847)	安東 (502)	岩村 (488)	鈴木 (344)	千葉 (722)	鈴木 (495)
第2位	中山 (294)	岩村 (202)	川村 (274)	藤井 (265)	福田 (529)	福田 (329)
第3位	福田 (201)	中山 (145)	千葉 (198)	安東 (161)	中山 (82)	安東 (277)
役満	第75回、中山さんが2021年12月に次いで7ヶ月ぶりに役満(国土無双)を達成					

【2022年度年間総合順位】中間成績報告

2022年度の「4月～12月」9ヶ月間の中間成績順位(得点合計)トップ3は次の通りです。

第1位 岩村さん(1881) 第2位 福田さん(1365) 第3位 川村さん(764)

今年度も残り3ヶ月、誰が年間チャンピオンに輝くのでしょうか？



新型コロナは収まって来たようですが、まだマスクは外せません
(2022年10月 第78回定例公式戦)



国土無双を達成、中山さん



ゲーム中もマスク着用！

《新会員募集中》

- * 入会金 : 1,000円 * 年会費 : 1,200円 * 毎回の場所使用料 : 100円～300円/人
- * オープン戦 第1金曜日/公式戦 第3金曜日 * 場所 : ハッピーハイランド矢板自治公民館等
- * 連絡先 : 事務局 佐藤龍雄 ☎;0287-43-0425 eメール; sato-t8@kjc.biglobe.ne.jp



太極拳・ヨガ同好会



スクワットで足腰と大腿筋を鍛錬

真向法とヨガで股関節の柔軟性促進

活動内容

令和4年10月1日よりヨガの練習時間増の関係で、同好会名称を「太極拳・ヨガ同好会」に変更しました。会員数は20名(内、一般女性会員8名)です。定例会は原則4回/月、月曜日の午前10時～11時30分、大田原生涯学習センターで練習しています。毎回の参加者数は8～12名程度ですが、体力維持、健康寿命を延ばす事、及び会員の親睦を目的に練習に励んでいます。準備運動としては青木会員指導の下、真向法とヨガを実施して股関節周り、肩甲骨周りの柔軟性を高めています。太極拳は薄井会員指導の下、簡化24式太極拳、太極扇、八段功を練習しています。また、コロナ感染予防の為、練習時はマスク着用、窓換気、3密防止等を徹底しています。

★ 準備運動と太極拳による運動効果 ★

- ① 準備運動と太極拳を行う事で下半身(大腿筋)が鍛えられ、転倒予防に繋がります。
- ② 太極拳定式ポーズを行う事で全身が鍛えられます。
- ③ 真向法、ヨガを行う事で身体の柔軟性が増し、頭痛、腰痛、肩こり改善の効果があります。

◆ 練習風景・参加会員氏名 ◆

最近の練習会に参加している会員					
青木 正和	才津 宣義	黒川 健一	矢板 利一	鈴木 光典	薄井 昭子
矢板 ミヨ	鈴木 文代	金田 美子	石渡 幸子	黒崎真美恵	荒田 勝代



参加者全員でカラフルな扇を披露



簡化24式太極拳の練習風景

<講師>

- ① 初級太極拳指導 : 薄井 昭子
- ② 初級ヨガ 指導 : 青木 正和

【入会申込・問合せ先】

会 長 : 山本 東洋治
 会 計 : 矢板 利一
 事務局 : 才津 宣義
 (TEL) 0287-29-1567

【入会案内】

- ・ 練習場所 : 大田原市生涯学習センター
- ・ 練習日時 : 毎週月曜日午前10時～11時30分
- ・ 服 装 : ジャージ等、動きやすい衣類を着用する
- ・ 履 物 : 室内用シューズ(個人で持参)を使用する
- ・ 年会費 : 1000円(練習会費、入会金は無料)
- ・ 入会方法 : 入会希望者は事務局へ電話して下さい

★ 新規会員募集中! 1ヶ月体験参加が出来ます

ボウリング同好会

11月現在、会員数 30名(会員22名、客員8名)、親睦と健康増進を目的に活発に活動しています。気軽にできるスポーツですので、社友会会員の皆様、入会して楽しんでみませんか！！

< 活動状況 / 競技結果 >

定例会は毎月1回、原則として第4木曜日午前10時より王冠ボウル(大田原)にて競技会を開催しています。

定例会	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回	第71回
実施日	6/23(木)	7/28(木)	8/25(木)	9/22(木)	10/27(木)	11/24(木)
優勝	小林 (25)	矢板 (40)	青木 (60)	千葉 (35)	磯島 (50)	青木 (30)
準優勝	福田 (25)	渋井 (0)	小林 (-5)	金子 (50)	佐藤 (25)	福田 (5)
3位	豊田 (30)	上野 (65)	矢板 (30)	上野 (55)	上野 (45)	豊田 (20)
参加者数	12	10	9	11	12	10

()内数字はハンデ数

< 競技方法 >

3ゲーム総合得点によるハンデ戦。第3回定例会より1位～3位および特定順位の方に賞品を贈呈しています。1位、2位、3位は、-30、-20、-10のハンデを次回以降累積することとし、参加者全員に、できるだけ公平に賞品が渡る様に配慮しています。ハンデ累積は12月迄とし、翌年1月に前年のハンデなし成績を基準として再設定します。今年は第61回定例会(1月)にハンデをリセットしました。また、優勝した方でマイシューズを持ってない会員にはボウリングシューズを贈呈しています。



第71回定例会参加者



小林会員



矢板会員



青木会員



千葉会員



磯島会員

6月～11月 優勝者

新会員募集中！！

入会金 / 年会費 : 無料 定例会参加費 : 1000円 (ゲーム代・貸靴代)

連絡先 : 【事務局】 千葉 守 ☎ : 090-4618-4141

E-mail : zweiim april@kra.biglobe.ne.jp

「社会貢献活動」 川崎城跡公園の下草刈り、矢板花火大会後の清掃活動に参加

令和4年8月6日および10月22日に川崎城跡公園の下草刈りのボランティア活動に参加しました。8月6日は総勢16名中、社友会栃木支部からは会員9名（徳永、河野、黒川、掛下、岩村、齊藤、荒田、後藤）、10月22日は総勢14名中、社友会員7名（河野、山口、岩村、徳永、掛下、海瀬、黒川）が参加しました。また、矢板の花火大会翌朝の10月16日には、打ち上げ場所周辺のゴミ拾いボランティア活動に参加しました。総勢100名（中学生、高校生含む）中、社友会員4名（海瀬、増田、齊藤、後藤）が参加しました。



8/6 川崎城跡公園の下草刈り活動に参加した皆さん



10/16 矢板花火大会後のゴミ拾いに参加した皆さん



10/22 川崎城跡公園の下草刈り活動に参加した皆さん

《長寿お祝い》

対象期間：R4. 4. 1～R4. 9. 30

※数字は会員番号 日付は誕生日

◆ 米 寿 ◆			
0652	小松	博	9/29
◆ 喜 寿 ◆			
3234	渡部	正幸	4/1
3236	島田	次秀	4/17
3278	中倉	勝利	6/26
3323	松田	輝臣	8/19
3341	木村	勝仁	9/9
◆ 古 希 ◆			
6005	立具	宏茂	4/6
5957	金子	守孝	4/12
5807	黒川	健一	4/28
5825	細田	清	5/1
5837	新津	寛	5/20
5870	石川	恵一	7/10

【表紙説明】

◆ 矢板市木幡神社の

『どんど焼き』

木幡神社の厄除け大祭・毎年一月十四日に開催されます。正月飾りを焚き上げ、家内安全や無病息災を祈るどんど焼きが行われ、太々神楽が奉納されます。

いつもは、焚き上げの火に近づいて写真を撮っていましたが今回は階段の上から周りの情景を取り込み、雰囲気により伝わり良い作品になりました。

撮影・大屋 信幸
(カメラクラブ会員)

【編集後記】

今号も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社友会の各種行事が自粛となり、掲載記事が少なく苦労をしました。幸い編集入力期限まじかに社友会会員のTV出演記事、ボランティア活動の表彰記事を掲載出来、また一般原稿の投稿が一件あり無事全頁を埋める事が出来ました。

会報作成に当り、寄稿に協力して頂いた会員、そして編集に携って頂いた編集委員の皆様には感謝申し上げます。

また最近、新型コロナウイルス感染者数が全国的に増加傾向ですので油断は出来ない状況が続いています。

現在第五回目のワクチン接種が始まっています。コロナ収束の見通しはまだ立ちませんが一日も早く収束し、元の生活様式に戻り社友会支部行事が再開出来る様になってほしいですね。

編集長・青木 正和



5回目ワクチン接種
を受けましょう！